

# 「SLAM DUNK」にみるスポーツマンガの可能性

## Study on “SLAM DUNK” - Japanese basketball comic books.

1K04B052-2

覺來 弦

指導教員

主査 寒川恒夫先生

副査 石井昌幸先生

### 第一章

この章では研究目的・方法および資料の選定理由について述べる。

この論文は『SLAM DUNK』の影響力からスポーツマンガのもつ可能性について考えることを目的としている。

方法としては、『少年ジャンプ』の誕生から現代までの流れについて分析し、その中での『SLAM DUNK』の位置づけを明らかにする。その上でマンガの内容分析をする。内容分析では、あらすじと登場人物について紹介したあとで、内容分析に入る。ストーリーについては『少年ジャンプ』創刊時からの編集方針であった“友情・努力・勝利”というコンセプトと作品内容との関連を分析する。次にその人気による影響や事件について分析、考察する。それによりスポーツマンガの持つ可能性について考察する。

資料として『SLAM DUNK』を選んだ理由としては、日本で最も人気のある少年向け漫画週刊誌において、最も人気のあるスポーツマンガであったことが挙げられる。『SLAM DUNK』が連載していた1995年、『少年ジャンプ』の1週間の発行部数は650万部を超える歴代最高部数を記録している。また、単行本全31巻の発行部数は2004年夏に1億冊を超えている。これらのことから最も多くの人に読まれ、影響を与え、分析対象として最も適していると考えた。

### 第二章

この章では『少年ジャンプ』の誕生から『SLAM DUNK』の連載開始までの流れについて述べる。

『少年ジャンプ』は68年7月に月2回刊として創刊された。後発氏として遅れてスタートしたが、その12年後の1980年には300万部を売り上げ、断然トップになっている。そして、その後、85年に403万部、89年に500万部、91年に600万部、95年には653万部に達している。

この成長の理由としては、アンケートをもとに考え出された“友情・努力・勝利”という単純化された編集方針や、アンケートはがきで読者の声を直接聞いたこと、漫画人口の急速の拡大や、読者年齢層の突き上げで読者が子どもだけではなくなったことなどが挙げられる。そして、この成長のピークの時期に連載されていたのが『SLAM DUNK』であった。

### 第三章

この章では『SLAM DUNK』の内容について分析・考察を行う。

あらすじ・主要登場人物について述べたあと、内容分析ではストーリーと“友情・努力・勝利”との関連について述べる。この結果、『SLAM DUNK』において、友情は桜木を助ける桜木軍団の活躍や、湘北高校バスケットボール部のチームワークとして、努力は特に主人公の桜木花道の努力と成長として、勝利はこのマンガがバスケットボールを題材としていることの特性から重要視され、また、勝利を追い際には必ず経験することのある敗北についても丁寧に描かれていることがわかった。

### 第四章

この章では『SLAM DUNK』が与えたと考えられる影響について述べる。

スポーツマンガの人気は競技者数の増加に影響を与えていると考えることができ、『SLAM DUNK』の影響によるバスケブームは日本国内だけでなく海外(中国)でも起こっていることが確認できた。さらに、単行本の発行部数が1億冊を突破したことを記念してスラムダンク奨学金が設立された。これによって日本の高校生の描く夢として本場アメリカでバスケットボールをすること、NBAを目指すことが現実的になった。

『SLAM DUNK』はほかの漫画家にも影響を与えた。『SLAM DUNK』を過去に同人誌で扱っていた経験のある漫画家がプロとして活躍した他に、描写を盗用するトレース問題も起こった。

また、人気漫画がアニメ化されるという一般化された流れに漏れず、『SLAM DUNK』もアニメ化され、これも高視聴率であった。また、このアニメは最近になって携帯への動画配信もされるようになった。

### 第五章

この章では結論と今後の課題について述べる。

スポーツマンガはマンガ界やスポーツの人気・他のメディアにも影響を与え、その影響は国内だけでなく海外にも及ぶ可能性があるということがわかった。

今後は、設立されたばかりのスラムダンク奨学金やbjリーグの成果、発展に注目していくことが必要である。